

# ごとう通信

第 190 号

平成 28 年 10 月 1 日

さすがに夏は終わりましたね。今年も暑い夏でしたが、何とか乗り切りました。ここから気持ちよい秋が続くといいいのですが、最近の傾向で言うとすぐ冬が来たりしますものね。さて、先月中旬、出張で広島に行ってきました。僕は広島出身で昔からのカープファン。ところが、僕が上京してからすっかり弱くなってしまいました。なんと25年ぶりの優勝。もちろん広島はカープ一色でした。

これは多くの人が知っている話ですが、ここまで優勝できなくなったのには訳がありました。とにかくお金です。カープのような資金力のない球団は、若い選手を一流選手に育

てたところでお金持ちチームに引き抜かれるということの連続。しかも以前、あるチームが有望な高校生たちにもお金を渡していたということの問題になりましたね。やはりプロはお金が全て、なんて思っていました。

今年のカープ優勝の最大の転機は広島球場です。球場建設の10年も前から大リーグの球場視察を重ね、その知識から建設された球場です。単に野球を見られればいいというものではなく、球場に行くことそのものが楽しくなるように考えられています。この球場のおかげで若い女性フ

アンが増えました。これが「カープ女子」という方たちです。僕が小さ



いころ行っていた広島市民球場は…品のないおやじワールドでしたが。ちなみに女性が多くなったことで応援も変わったそうです。どこの球場でも「〇〇(相手チーム)倒せ!」という応援がありますが、広島ではそのような応援はありません。「カープ頑張れ!」だけです。相手を否定する応援は女性的には受け入れられないそうです。

女性ファンも増え、球団経営にも余裕ができて黒田をまた受け入れることができるようになり、今年の快進撃につながりました。ペナントレースは1年単位ですが、優勝するために10年近い月日がかかっていたんですね。ただ、問題は来年以降です。次の優勝の時、僕が後期高齢者…なんてことになってなければいいのですが。